

あすなろ

東京都港区三田3-2-20 TEL 03-3455-6006
http://oakhp02.chottu.net



今年もよろしく
願います。

「会」は沖電気とその関連などで働く人々が「安心して人間らしく働ける職場」を願って創られました。正規・非正規を問わず誰でも入会できます。略称はOAKです。
仕事や生活のこと、世の中の事を一緒に考えてみませんか。少しでも明るい明日になるようにと、会紙は「あすなろ」
《設立1986年》

誰もが安心して働き・生活できる社会を！ 沖データに派遣社員の直接雇用を求める 12・17集会

沖電気のプリンター事業会社・沖データで契約解除（解雇）されたTさんを職場に戻そうと12月17日、高崎市（群馬県）で集会が開催されました。参加は28団体100名で熱気あふれる集会となりました。



講演した吉野弁護士

米田電機・情報ユニオン中央執行委員長は「直接雇用を求め、労使の交渉で解決をさせるため全力で頑張りたい」と主催者を代表して挨拶。連帯挨拶に立った真砂群馬県労働組合会議議長は「社会的に包囲する運動を群馬県労働会議のたたかいとして広げていきたい」と力強い挨拶。講演では「格差社会の是正を！労働者派遣法をめぐる情勢」を吉野弁護士が行いました。中山電機・情報ユニオン関東地本執行委員の「たたかいの

経過報告」後、Tさん本人から訴えがされました。「8年5ヶ月もの長い間、正社員のやる仕事を任され、早朝4時に出社し仕事の準備、昼食も惜しんでやり続けたこともある。タイムカードを押してから又、残業をやったり、月100時間を超す仕事に体を壊したこともある。それでも誇りとやりがいを感じてやってきた。それがいとも簡単に契約解除の名で、放り出されることに心から怒りを感じた。何としても沖データで働きたいので引き続きご支援をお願いします」と訴えると、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。最後に集会決議が採択され、後日、群馬県労働組合会議の役員によって沖データと群馬労働局へ届けられました。



立ち見もできるほど会場いっぱいの参加者

誰もが安心して生活できる賃金と健康で働き続けられる職場を！
「絆」二〇一一年を表す漢字でした。東日本大震災そして、東京電力福島原発の事故。家族を想い、街を想い、社会や世の中のことを考えた一年「絆」を守るためには、社会が一人ひとりを守る機能を果たなければなりません。
「原発なくせ」「格差をなくせ、99%の国民が連帯して未来を開こう」など各地で集会が開かれ、社会的連帯の輪が広がった一年でもありました。被災地では一人も解雇せず会社を再建しようとする。その一方で、電機大手のソニー仙台が震災を理由に期間社員を雇い止めしたり、沖グループ（沖データ）では契約解除の名の下に解雇をする非情なことが起きています。それに抗し、それぞれ労働組合に入り、雇用の継続を求めたたかっています。企業はコンプライアンス（法令遵守と模範的行動）と社会的責任を果たすことが求められています。職場は人員削減で人手不足が蔓延しています。業務の効率化で、過密労働や長時間労働が依然として解決をされていません。非正規社員も含めたすべての労働者が心身ともに健康で働ける環境なしには、健全な経営も再生もありません。
この一年、職場から「人間らしい生活と働き方を取り戻そう！」の声を一緒に広げていきましょう。

沖電気の職場を
明るくする会

「職場の声」
生活改善要求アンケートから
生産現場は多能工のもと、フレキシブルに他職場への応援があり、落ちつかない。
勤続年数から考えると、なまじくなくなるような年収と年収です。賃金のUPをのぞみます。
転籍前提の出向後は、賃金ダウンが心配です。
正規社員以上の仕事や、あれこれ思われる仕事内容に疑問あり。これって正社員の仕事でしょうか？思う事度々、疲れます。
職場の人間関係はバラバラ、管理職の指導力の無さに驚愕。
上司のパワハラがある。最近ばかり直って週3日は定時で帰宅している。

二〇一二年の幕開け。元日はスポーツ観戦三昧の方も多かったのではないのでしょうか。ニューイヤーマスクからは箱根駅伝、ラクビー、アメフト、高校選手権等々、無心に走る姿に影響されてランニングを始めるサラリーマンが増えるらしい。今年のスポーツイベントのメインは何と云っても七月末に開幕するロンドン五輪。中でも「なでしこジャパン」の活躍が期待されますが、男子は二月・三月の最終予選で出場が決まります。サッカーの場合（男子）、オリンピックに出られるのは二三歳以下。年齢制限のないのがワールドカップで、出場選手を「A代表」と呼んでいます。次のワールドカップは二〇一四年のブラジル大会。こちらは「チームを二グループに分けた最終予選が六月から約一年かけてホーム＆アウェイ戦で闘われ二位までが出場。日本は五大会連続本大会出場がかかっています。大会から大会までの四年間かけて出場国を決めるワールドカップ。世界最大のスポーツイベントと言われるスケールの大きさを感じます。しかし、女子の場合はワールドカップよりもオリンピックの方が注目されているだけに「なでしこジャパン」の意気込みは優勝したワールドカップ以上です。四月にアメリカ、ブラジルとの親善試合があり楽しみ！

